



令和6年2月1日

# 学校だより

東京都立石神井特別支援学校

校長 柳澤 由香

「地域の小・中・高等学校・特別支援学校との交流」

副校長 佐藤 匡郁

本校では、練馬区立石神井台小学校、練馬区立大泉第二中学校、都立石神井高等学校、旭出学園と連携し、学校間交流を行っています。数年間、新型コロナウイルス感染症拡大への懸念から交流を控えざるを得なかった期間を経て、徐々に交流学習が再開され、充実した学習活動を展開しています。

例えば、昨年12月に実施した本校中学部1年生と都立石神井高等学校 吹奏楽部との音楽交流会では、吹奏楽部員18名が、楽器を持参し来校してくださり、日頃から部活動で練習を重ねている楽曲や、本校の校歌などを生演奏で披露してくださいました。この日に向け練習を重ねてきてくださったこと、本校の生徒が楽しめるような楽曲を選んでくださったこと、そういった生徒たちが自然に心をかよわせる機会こそが、この学校間交流の重要な意義の一つなのではないかと強く感じました。

また、同じく12月に練馬区立石神井台小学校5年生と本校小学部5年生も交流を行いました。約90名の児童が来校し、本校の児童は学習発表会の劇を披露しました。石神井台小学校の子供たちは、合唱曲2曲とみんなで一緒に踊れるダンスを準備してきてくださり、全員で歌やダンスを一緒に楽しむことができました。

1月には、旭出学園との交流を行い、本校中学部2年生が旭出学園中学部の生徒と共にボッチャのゲームを楽しみました。また2月には、石神井台小学校・大泉第二中学校との図画工作・美術作品の展示交流も実施する計画です。

学校間交流では、いつもとは違う集団の中で多様な思考や価値観に触れ、刺激を受け合うことができたり、友人・知人関係が広がることで、互いを意識し、理解し合うことができたりするなど、様々な効果が期待できるのではないかと考えています。

これからも引き続き、感染拡大に注意しながら交流活動を実施してまいりますので、御理解・御協力の程よろしくお願ひいたします。